

こんにちは。

先週ようやく二学期の試験が終わり、ホリデーに入りました。留学も残すところあと半分となり、自分の英語力の伸びを感じると同時に、残り半分の期間で自分のやりたいことをすべてやっておかねばという焦りも感じます。ウイルスの影響で当初やりたかったこと（オーストラリアの大学のオープンキャンパスに行く、留学生の交流イベントに参加する、映画館に行く、等）ができず悔しく思っていたのですが、ようやく施設がだんだんと元通りになり始めてきたため改めて計画を立て始めています。

今回はセメスター末（1セメスター、、ターム1+ターム2）の試験について、またホリデー中に訪れた動物園で感じた日本との違いについて書きたいと思います。

今回は私たち Year10（高校一年生。現地では私は学年を一つ下げています）の生徒にとって初めての Exam Shutdown でした。これは約一週間ある試験期間の中で、自分がとっている教科のテスト時間だけ学校に登校するというシステムで、オーストラリアではそれぞれが違った教科をとっているために行われます。一教科の試験時間は約 1~2 時間ほどで、1 日に最大 2 教科のみのため日本に比べると余裕のあるテストです。また試験の内容が主に記述やエッセイのため、直前まで必死にテキストやノートを見る生徒もあまり見かけません。数学は電卓を持ち込めるため簡単でしたが、歴史などの決まった時間の中で大量の記述を必要とする科目は大変でした。最後の科目が終わったときは本当にほっとしました。

試験が終わった翌日から二週間のホリデーが始まりました。私の今回のホリデーの目標はとにかく色々な場所に訪れることです！今は約一週間目ですが大きなショッピングモール、野外マーケット、Burleigh Heads Beach, Brisbane Central City など自分が行きたいと思っていたところを巡っています。私が特に心に残っているのが Currumbin Wildlife Sanctuary という動物園なのですが、まず動物が日本の動物園と違って主にコアラ、カンガルー、エミュー、タスマニアデビル、ウォンバットなどオーストラリアを象徴する動物ばかりだな、と思いました。またエミューなどの一見危険そうな動物に柵などなしで近づけてしまったり、鳥のショーでは鳥が観客にぶつかる寸前まで飛んで来たり（もちろん訓練された鳥ですが）、日本ではできないだろうな、と感ずることが時々ありました（笑）。コアラを抱っこできるスペースもあり、念願のコアラとの 2 ショットをとることができてうれし方です！売店ではカンガルーのナゲットといういかにもオーストラリアらしい食べ物が売られていて驚きました。オーギーでさえカンガルーの肉を食べたことがある人は少ないようですが、、、。せっかくの機会と思い試してみました。特にクセは感じず美味しかったです。最近になり動物園を含めた多くの施設が開き始めたので、より様々な場所に訪れてみたいと思っています。

まだ一週間ある今回のホリデーを有意義に過ごしつつ、次のタームから始まる新たな科目の学習を楽しみに生活していこうと思います。